Color Science Association of Japan

日本色彩学会誌
JOURNAL OF THE COLOR SCIENCE ASSOCIATION OF JAPAN
VOLUME 28 NUMBER 1 2004

巻頭言　響き合う色の如きシンフォニックな学会活動

理事　松田　陽子

入会以来、学会で催された様々な色彩学啓蒙活動の恩恵に浴し、色彩の魅力に心奪われた侭に10年の歳月が流れました。現在、女子大学の空間造形学科、映像コミュニケーション学科で色彩教育に携わる中で、色彩がメディアを越えたデザイン言語として確実にその地位を築きつつあることを実感しています。色彩学の総合的理解を求めるには短い授業時間ですが、目と手と頭が生みだす色の体験、色と色が生みだす響きの体験を大切に、色彩世界を学ぶ楽しさを伝えられるようにと心掛けています。

学会内では、久下靖征関東支部長のもとで企画幹事として支部活動に携わっています。15年4月に「国立西洋博物館：織りだされた絵画－タピスリー」鑑賞会、12月に前田富士男氏、高橋義人氏による公開学術講演会「ゲーテ色彩論の世界」を開催しました。この講演会は、支部主催のカラースペシャリスト養成講座の修了生有志が立ち上げた「目白クラブ読書会」との共催により実現したものでした。小町谷先生を囲み、3年越しでようやくゲーテの大著『色彩論』を読破した熱心な読書会メンバーにとっては、その記念イベントでもあった訳です。16年1月には北畠耀氏、小林光夫氏による講演会「シュヴルールの遺産」と「東京国立近代美術館：ヨハネス・イッテン造形芸術への道」見学会を実施しました。

ところで、こうした支部企画の開催地が首都圏に集中しがちなことは否めません。活動の地域較差是正に向けては、例えば学会のホームページのリニューアルに併せ、各地の色彩関連催事情報の収集や見学会などを企画して下さる特派員を募るなど、ご意見を募りながら実施していきたいと考えています。また、支部では企画実施後の反省を新たな企画に反映させるよう努力しています。その一つが4月3日に日本ペイントデザインセンターにて開催される支部大会プログラム「研究会最前線」です。前年までの講演会に変え、各研究会から最新の話題を提供いただき、研究会活動と支部大会を共に盛り上げようとの試みです。これまでにも増して多くの会員が参加されることを希望してやみません。

昨年より会計担当の新任理事として学会運営に参加させていただいております。今に至っても理事会での重要議案の討議や決議には緊張するばかりですが、円滑な学会運営の裏に、いかに多くの方の心と心、力と力が合わさり、またそれをまとめるご苦労があるかを知りました。これまで、そうした恩沢にあずかるばかりでまいりましたが、今後、微力ながらお役に立てるよう努力致してまいりたいと考えております。

色彩学会の発展は、芸術・文化・科学・技術の文理融合、あるいは実務家も交えての産学連携といった相互の協調、調和の姿勢の上に在ると考えます。響き合う色の調和のように、多様な分野で活躍する会員のシンフォニックな活動が、色彩学会の未来を支え広げていくことと信じています。

（Colour Institute MEME主宰）

NII-Electronic Library Service